ODA

発　行　社会福祉法人　沖縄県身体障害者福祉協会
編　集　沖縄県障害者社会参加推進センター
〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1
TEL(098)851-3455　FAX(098)851-3855
ホームページアドレス　http://www.okisin.jp
E メールアドレス　okisinky@blue.ocn.ne.jp
頒価一部 100 円（会費に含まれています）

沖縄県障害者社会参加推進センターだより　第45号

2016 希望郷 いわて大会

第16回全国障害者スポーツ大会　広げよう 感動。伝えよう 感謝。

平成２８年１０月２２日（土）～２４日（月）の３日間にわたり全国障害者スポーツ大会（希望郷いわて大会）が、「広げよう 感動。伝えよう 感謝。」のスローガンのもと、北上総合運動公園北上陸上競技場を中心に開催されました。開催地は平成２３年３月１１日に発生した東北地方太平洋沖地震の被災地、岩手県。現地スタッフやボランティアのメンバーには被災した方もいましたが、沖縄選手団を精一杯支え、応援してくれた姿には感銘をうけました。

全国から集まった選手約３，５００名の内、沖縄選手団は個人６競技に選手役員５４名、団体２競技に選手役員３４名の総勢８８名が参加しました。

大会期間中は、天候には恵まれていたものの最高気温１５度、最低２度という寒暖差と強風の厳しい環境でした。結果、女子聴覚バレーが銅メダルを獲得。個人競技合わせ、**金９個、銀８個 銅８個と、過去最多となるメダル合計数２５個**となりました。スポーツ大会を通して沖縄から岩手へ、そして全国への震災復興の架け橋を繋ぎ合わせる有意義な大会となり、盛会のうちに幕を閉じました。

≪メダル結果≫

●金メダル●

- 新崎　祥太　１００ｍ・走り幅跳び
- 松川　幸市　砲丸投げ
- 吉永　安行　スラローム
- 結城　和昭　２５ｍ自由形
- 宮城　宏　２５ｍ背泳ぎ
- 呉屋　光雄　一般卓球
- 當眞　嗣竜　一般卓球
- 釘宮　美姫子　アキュラシーディスリート５

スラローム　吉永安行

●銀メダル●

- 田場　上　１００ｍ・２００ｍ
- 松川　幸市　ソフトボール投げ
- 上原　慶子　ソフトボール投げ
- 並里　盛栄　リカーブ５０ｍ３０ｍラウンド
- 新垣　明子　２５ｍ背泳ぎ
- 幸地　千夏　５０ｍ
- 金城　十夢　５０ｍ

聴覚バレー　迎結子

●銅メダル●

- 吉永　安行　ビーンバッグ投げ
- 金城　みなみ　ソフトボール投げ
- 幸地　千夏　ソフトボール投げ
- 結城　和昭　５０ｍ自由形
- 宮城　宏　２５ｍ自由形
- 平良　昂士　一般卓球
- 屋我　末子　ＳＴＴ
- 女子聴覚バレーボール
  （主将：小渡　佑希子）

サッカー（知的）

陸上　ウォーミングアップ

沖 福 連　２０１６
精神保健福祉促進家族大会　報告

去った９月２３日（金）１４時から、県立博物館・美術館２階講堂（那覇市おもろまち）において、「家族による家族学習会について」をテーマに講演とクロストークの「沖福連家族大会２０１６」が開催されました。

今年の大会には、１００名余の家族・関係者が会場に足を運んでくださいました。主催者の挨拶、那覇市長と沖縄県知事（いずれも代理）の来賓あいさつの後、埼玉県と福岡県における「家族による家族学習会」の先進的取組みを映像上映と講演（講師：岡田久実子、守谷榮二）により報告。そして、今年度はじめて沖縄市を会場として始まった家族学習会の取組みについて、沖縄での担当者お二人と、講師を務めたお二人が、ステージに上がって学習会についてのクロストーク。

毎回同じ家族が集い、体系的なテキストを読みあわせすることで、定例の家族会では出てこなかった家族の事情や困りごとなどの話が深まり、意見交換のための限られた時間をオーバーするほど思いがあふれることなどが、会場に共感を呼んでいました。

研修会の終了後には、講師、参加者合わせて約３０名が、沖縄ホテルに場所を移して夕食を囲み懇親会が持たれました。

なお、当日の講演内容、アンケートの取りまとめなどを、冊子「家族会報告集」として取りまとめる作業を進めています。出来上がりは１１月上旬の予定です。ご希望の方は、ご一報ください。

問合せ先：沖福連　電話　０９８－８８９－４０１１
ＦＡＸ０９８－８８８－５６５５
（担当：高橋・比嘉）

沖 縄 県
ゆ う あ い ス ポ ー ツ 大 会

沖縄県手をつなぐ育成会が沖縄県より委託を受けている「沖縄県ゆうあいスポーツ大会」が、平成２８年１０月１５日（土）に沖縄県総合運動公園陸上競技場とサブグランドで開催されました。

２５年目を迎える今年度の大会は、出場選手が２，１５０名、役員・ボランティア４００名余、保護者等の応援者も合わせると約４，０００名以上の方が参加する大きな大会となっており、参加選手が２，０００名を超える知的障がい者単独のスポーツ大会としては、全国では有数の大会として注目されています。

前日からの雨で開催を不安視しましたが、当日は選手の皆さんの強い熱意が天に届いたと思われ、開始時間が近づくにつれて晴れ間が広がり、無事に開催することができました。

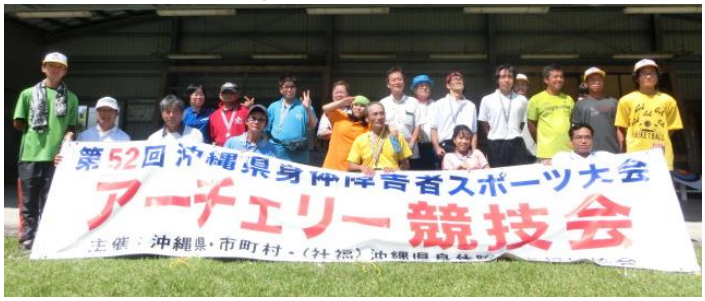
この大会は、陸上競技、フライングディスク競技の種目で構成され、好成績をあげた方については、全国障害者スポーツ大会の選手選考の参考となっています。

また同年度内で、離島における知的障がい者のスポーツ振興のために宮古地区大会・八重山地区大会も開催しています。

3か月を駆け抜けた！ ★第５２回 沖縄県身体障害者スポーツ大会 報告★

平成２８年８月～１０月にわたり、第５２回沖縄県身体障害者スポーツ大会が開催されました。

８月１４日（日）にはアーチェリー競技会が全競技に先駆けて、沖縄県立鏡が丘特別支援学校を会場に行われました。悪天候の為当初の予定から１週間延期となって開催されましたが半数以上の選手が参加し、厳しい暑さと静寂に包まれる中で離れた的にむかい次々と矢を放ち競技が進行していきました。



９月２４日（土）には卓球・水泳競技会が沖縄県総合運動公園体育館・サブアリーナ・屋内プールを会場に行われました。

一般卓球では予定より早く終わった組み合わせもあったため、急遽、交流戦を開始するといった対応を取りました。

サウンドテーブルテニスでは蒸し暑い会場ではありましたが、選手の皆さんは一生懸命ボールを返し、順調に競技を終えました。

水泳競技は会場に響き渡る応援の声が印象的で、１レースごとに拍手喝さいの賑やかな競技会となりました。

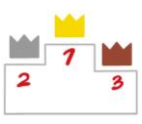
なお、今年度からアーチェリー競技・卓球競技・水泳競技も福祉地区対抗競技の得点に加算されることになりました。

１０月８日（土）には本大会（陸上競技・フライングディスク競技）が開催されました。直前に台風１８号が接近するなど不安もありましたが、当日は快晴で最高の天気の下、大会は行われました。

秋と呼ぶにはまだまだ暑い中、選手の皆さんは爽やかな汗を流しながら、それぞれの競技に挑んでいました。各団体テントの応援も盛り上がりを見せました。

また、競技場の大型スクリーンを使用して競技の様子を映したり、各団体の一言応援メッセージを流したりと運営側初めての挑戦もありました。

一日の激戦を終え、今年度の頂点に立ったのは「沖縄市福祉地区」の皆さんでした。なお、沖縄市福祉地区は去年に続き２連覇となります。以下２位に「那覇市福祉地区」、３位に「宜野湾市福祉地区」が続きました。



今年度も無事に沖縄県身体障害者スポーツ大会が開催できたのは、選手をはじめ各団体、運営役員、ボランティア、その他関係者の協力があってこそです。皆様のたくさんのご協力、誠に有難うございました！！

平成 28 年度 障害者 110 番運営事業研修会

平成２８年６月３０日(木)に「平成２８年度 障害者１１０番運営事業研修会」が衆議院第二議員会館（東京都）で開催されました。

午前中は、一般社団法人日本発達障害ネットワークの橋口亜希子 氏にて、「発達障害への理解と合理的配慮の提供について」と題し、自らの子育ての体験談を交えながら「発達障害」を抱えて生活している人々やそれを身近で支えている家族の苦労や思いとその支援について、ご講演いただきました。

一言で「発達障害」と言っても、個々で障がいの特性のあらわれ方が異なっており、個別に合わせた支援方法や関わり方、環境調整を行い、一人一人に丁寧に関わることが重要な支援のポイントになるとのことでした。

午後は、ＤＰＩ日本会議副会議長の尾上浩二 氏にて、障害者差別解消法と合理的配慮の概要について、ご講演いただきました。平成２８年４月より「障害者差別解消法」が施行されましたが、まだハード面でもソフト面でも不十分な面が多々あり、今後、それらの社会的バリアを減らしていけるように、社会全体で取り組んでいく必要があるとのことでした。

また、実際の事例を取り上げながら障害者差別解消法における合理的配慮について、どのような支援を行うのかについて、各グループで討議・意見交換を行いました。

今回の研修会を通して、相談支援において障がいのある方だけでなく家族などの身近な支援者への『寄り添い』がとても重要であるということを改めて学ぶことが出来ました。

『障害者１１０番』相談受付数

（平成 28 年 4 月～平成 28 年 10 月まで）

① 年度別、月別・障害別相談件数　（単位：件）

	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	不明・他	計
4 月	2	1	42	6	51
5 月	6	2	41	3	52
6 月	11		53	2	66
7 月	14		25	4	43
8 月	14	2	5	13	34
9 月	14	1	13	2	30
10 月	4		10	4	18
合計	65	6	189	34	294

② 年度別、月別・内容別相談件数　（単位：件）

	①人権問題	②生活支援	③医療・福祉	④その他	計
4 月	7	39	5		51
5 月	11	27	9	5	52
6 月	11	20	34	1	66
7 月	7	20	14	2	43
8 月	8	8	11	7	34
9 月	7	9	7	7	30
10 月	5	6	2	5	18
合計	56	129	82	27	294

障がい者１１０番

障がい者の人権を守り、生活を支援します

◆ **相談日**：月曜日～金曜日　9：00～17：00

【相談内容】

人権問題・生活支援・医療福祉・その他障がい者自身または家族、友人や知人で悩んでいる方、困っている方などの相談。

あなたの近所の方で悩んでいる、困っている方などの情報をお気軽にご相談ください。

※ 秘密は守ります。相談は無料です

【問い合わせ先・連絡先】

◆ 電話(FAX 兼用):098－851－3910

◆ メールアドレス:jimukyok14@okisin.jp

〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1

（沖縄県障害者社会参加推進センター　相談室）

平成７年５月１０日第３種郵便物認可　　平成２８年１１月３０日発行（毎月 20 日 25 日 30 日発行）ODA 通巻　第１０１８号（5）

おきしんきょう通信

― 沖 縄 県 身 体 障 害 者 福 祉 協 会 ―

経営理念　一、利用者本位　一、社会貢献　一、責任と実行

第2回 太希おきなわ 秋まつり 開催

第２回太希おきなわ秋まつりを１１月１９日（土）に開催しました。この秋まつりは、八重瀬町に移転を機に施設利用者やその家族と地域住民が交流する場を提供し障害者の理解を深め、地域と一体感ある施設づくりをめざし開催しました。

当日は、午前中に降った雨が午後には上がり、まつり開催には最高の天気となりました！

（すべての人々の日頃の行いのおかげで☆彡）

各方面からの関係者・来場者、そして利用者が一堂に楽しむ秋まつりがいよいよ幕開けです。オープニングを彩る東風平中学校吹奏楽部によるブラスバンド演奏はリズム感が躍動し思わず体が動くほど素晴らしい演奏でした。

利用者によるカラオケ大会では賞品もあり参加者５名は、笑顔を見せました

仲座区の三味線愛好会による演奏は日が沈みかけた秋まつりの雰囲気を一層盛り上げ、また安里区青年会によるエイサーが沖縄らしい秋まつりを演出しました。最後はちょっぴり贅沢な花火も!!

秋まつり開催にご尽力いただきました、関係者の皆様へ感謝申し上げ、お礼といたします。ありがとうございました。

第４７回九州身体障害者福祉大会
第２４回九州ブロック身体障害者相談員研修会

平成２８年１１月１７日（木）～１８日（金）にかけて長崎ブリックホールを会場に第４７回九州身体障害者福祉大会および第２４回九州ブロック身体障害者研修会が開催されました。

相談員研修会、第３部研究部会では沖縄県身体障害者相談員連絡協議会会長 豊平朝清 氏がパネラーとして『身体障害者相談員活動の連携強化について』の題目でパネルディスカッションに参加し、身体障害者相談員の数の減少やピアカウンセラーの役目について沖縄県の現状を話しました。翌日、福祉大会の第１部式典には『障害者差別解消法の理解啓発と組織強化を図ろう』『障害者の災害対策を勧めよう』のスローガンの下８３０人もの参加者・関係者が集まりました。

表彰では特別表彰ので沖縄県身体障害者福祉協会事務局長 運天健が、組織活動功労表彰では中城村身体障害者協会会長 与那覇晴枝 氏の２名が表彰を受けました。第２部の講演会、第３部の議事を経て、次期開催権である沖縄県の挨拶として沖縄県身体障害者福祉協会会長 永山 健二 が挨拶を行い次年度への決意を述べ長崎大会は幕を閉じました。

第１０回 九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会 ― 読谷村身協からの報告 ―

我々、読谷村身体障害者協会の選手“チームＧＧ仲間たち„は、去る１０月７日（金）北九州市響灘グリーンパークで行われた第１０回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会に参加しました。

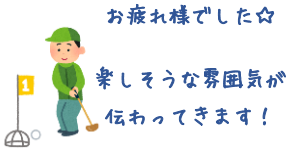
６日午前１０時那覇空港を出発し、午後４時にホテルチェックイン後、山内監督と城間主将が監督会議に参加しました。

さらに午後６時からの親睦会には、前田選手、松田選手、知花選手も一緒に５人全員で参加しました。九州各県の代表チームの中から５０人余が参加していて、大会長のあいさつ、地元北九州市身体障害者福祉協会の歓迎のあいさつの後、参加者全員の自己紹介、そしてカラオケになる頃には、席を離れて他県のチームに交わったりして大いに盛り上がった前夜祭になりました。

いよいよ大会当日、ホテルから会場までの大型シャトルバスの１台には、我々５人と大会長だけが乗車し、沖縄のことや大会長の地元長崎県五島市ことや他に闘鶏の話に花が咲き、話題は尽きることなくアッという間の３０分間でした。開会式での大会長のあいさつの中で「バスの中で沖縄県の読谷村の身協の皆さんと趣味の話で盛り上がり本当の意味での交流ができました。」と話され、遠く沖縄から来た我々を激励してくれました。

響灘グリーンパークは、広大な敷地に緑の芝生が敷き詰められていて、その上でのグラウンド・ゴルフのプレーは爽快な気分でした。

成績は残念ながら６位入賞はならず。山内監督がプレーの中でホールインワンを達成したのは唯一の救いでした。



九州各県・政令指定都市団体長事務局長会議

平成２８年９月１日（木）九州各県・政令指定都市団体長事務局長会議が長崎県ルークプラザホテルを会場に開催され、以下のことが審議されました。

『第４７回九州身体障害者福祉大会・第２４回九州ブロック身体障害者相談員研修会（長崎大会）について』

日程：平成２８年１１月１７日（木）・１８日（金）
被表彰者：特別表彰９名　組織活動功労表彰 10 名

『日本身体障害者団体連合会九州ブロック理事候補者の選定について』

・福岡市　中原義隆　氏　・長崎県　土岐達志　氏
・福岡県　松永千之　氏の３名が理事となる。
任期：平成２９年６月１日～平成３１年５月３１日

『身体障害者相談員全国連絡協議会九州ブロック理事の交代に伴う候補者の選定について』

・鹿児島県　佐藤彰矩　氏となる。
任期：平成２７年９月１日～平成２９年８月３１日

『平成２９年度以降の各種大会開催予定地について』

平成２９年度

・日身連全国大会（岐阜県）
・**九州身障者福祉大会・相談員研修会（沖縄県）**
・九州身障者グラウンド・ゴルフ大会（福岡市）
・全国障害者スポーツ大会（愛媛県）

平成３０年度

・日身連全国大会（関東）
・九州身障者福祉大会・相談員研修会（福岡市）
・**九州身障者グラウンド・ゴルフ大会（沖縄県）**
・全国障害者スポーツ大会（福井県）

会員募集

当法人の障害福祉事業は補助金や委託金、寄附金や皆様の会費をもって実施しています。

種類	年会費
企業会員Ａ	100,000 円
企業会員Ｂ	50,000 円
特別会員Ａ	30,000 円
特別会員Ｂ	20,000 円
賛助会員Ａ	10,000 円
賛助会員Ｂ	5,000 円
賛助会員Ｃ	3,000 円